

### 3. 環境に関わる共通の事故要因

他産業では、工場内は水平面、施設内も明るく快適、が原則です。しかし、農作業現場は、必ずしも「すっきり」ではありません。そのことが事故原因ともなっています。

#### ①境界があいまい、草むら、道路の風化など

畦や堤防、道路などが草に覆われたために、境界が不鮮明となり、「踏み外して」転落した事故、風化した路肩を歩いていて土が崩れて転落した事故などが起こっています。

#### ②圧倒的に多い傾斜面、法面

日本の農地の6割が傾斜面です。さらに昇降路や畦の法面なども傾斜地であり、傾斜地対策が農作業安全に取って大切な課題です。

#### ③坂道、直角・鋭角カーブ、狭い道、デコボコ道

日本の道路の多くがコンクリート舗装となっています。また、道路標識も整備され、交差点での一旦停止なども徹底されています。しかし、農道は直角・鋭角カーブ、狭い道など極めて悪条件です。このような所をスピードを落とさず、また一旦停止やハンドルの切り返しを行わずに走行して事故が起こっています。

#### ④機械内部、施設内が暗い、狭い

古い納屋を改造した作業場などでは、照明が暗い、また狭い施設が多くあります。また、階段がなく、垂直ばしごで2階に上がったり、2階に手すりがないなど、他産業では考えられない施設が多くあります。また、機械の暗い内部に、手を入れて④有利をしているときにも事故が起こっています。

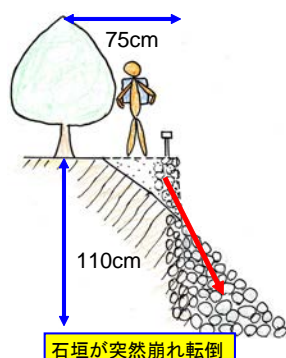
## (1) 境界があいまい：草むら、道路の風化など

### 事例1：風化した石垣が突然崩れて、転落

みかん園で農薬散布中、路肩が風化で脆く崩れ転倒。右脚複雑骨折。

農地は、風雨にさらされ風化しています。外見上、問題がなさそうに見えても思わぬ力がかかり、崩れることがあります。

また、草が生い茂り、境界が曖昧となり、事故につながることもあります。



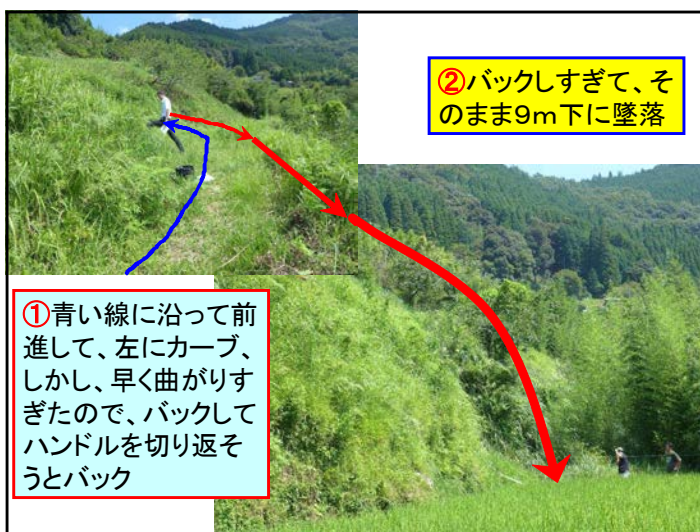
草が茂り、風化が進み、境界があいまいに  
作業前に、必ず再点検を

**事例2: 草むらで道の境界がよく分からず、転落**

草の生えていないときには、何ら危険が無いところでも、草が生えたことにより道路等の境界が不鮮明となり、道の存在そのものが曖昧になり、極めて危険です。

右の事例は、トラクターで左上の田んぼに行く際、左・鋭角カーブで草で道がよく分からず早く曲がりすぎたので、一旦バックしたつもりが、バックし過ぎそのまま、9m崖下へトラクターもろとも墜落、死亡した事故です。

このように、普段は危険でなくても草等が生えることで、慣れた道でも一気に危険地帯となります。



②バックしすぎて、そのまま9m下に墜落

①青い線に沿って前進して、左にカーブ、しかし、早く曲がりすぎたので、バックしてハンドルを切り返そうとバック

**(3) 圧倒的に多い傾斜地、法面**

立っただけで体を支えきれないような傾斜地での農作業。

右は、施肥中転倒、肋骨打撲。

このような場所には、小段や小道などの設置が必要であり、行政などの支援も望めます。

平面と思われる平地の農地でも畦の法面や用排水の法面等至る所に傾斜地があります。



施肥中転倒、肋骨強打・打撲。転倒した場所には、うっすらと小道らしきものがあるが、到底、体を十分に安定に保つためには、道幅もほとんどない。今後、小段的、小道等を作り改修するには、様々な支援が必要。斜度34~45°。おじいさんの代から地取りで園地を開墾。

緩やかな法面や小段の設置  
余裕のある昇降路の設置を

### (3) 坂道・直角・鋭角カーブ、狭い道、デコボコ道

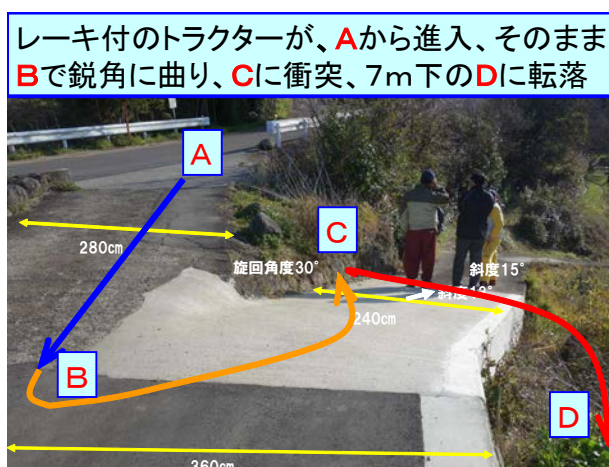
一般の道路は安全性を配慮した設計となっています。また、必要に応じて道路標識で注意を促しています。

しかし、農道は一定の設計基準はあるものの、トラクターや様々な作業機が走行しても安全である、との設計とは必ずしもなっていません。

農道には、危険な直角・鋭角カーブ、坂道、狭い道、デコボコ道がたくさんあり、安全走行は、基本的にオペレーターの運転の仕方に頼っています。

もちろん、道路改修が進めば良いのですが、今すぐと言う訳にはいきません。となると、残念ながら運転者の自覚任せとなります。

車以上の注意深い運転が求められます。



レーキ付のトラクターが、Aから進入、そのままBで鋭角に曲り、Cに衝突、7m下のDに転落

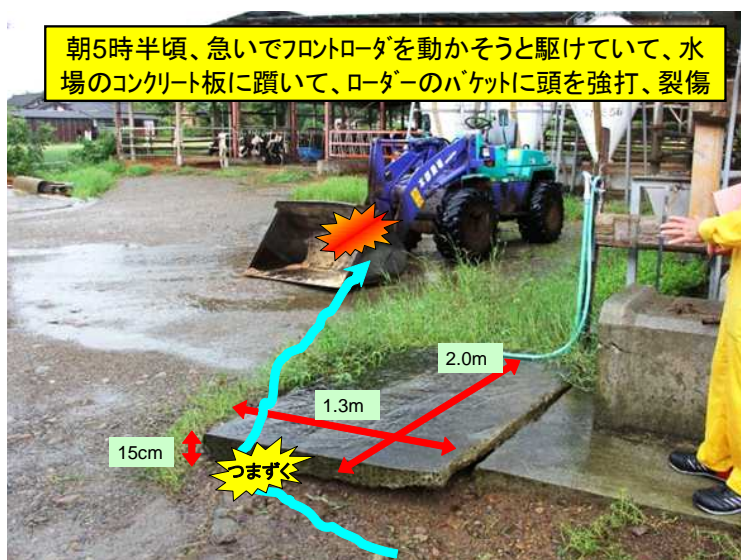
車以上の悪路、悪条件を走る農業機械  
車以上の安全運転を！

### (4) 施設内部、施設が暗い、狭い

右は、急いで移動中、洗い場のコンクリートに躓き、たたらを踏んで、そのままトラクターのバケットに頭を強打、裂傷に至った事例です。

早朝の作業もあり、センサー付きライトの設置などが望まれます。

一般に作業場内の照明について、改めて見直す必要があります。また、常に点検を要する機械内部が暗く、手を入れて捲き込まれるの事故も起こっています。また、照明器具を身近に設置するなどの工夫も必要です。



他産業に比較して、暗い施設、照明の見直しを  
\*「見えない」ので分からない危険